

ランキング作成方法と見方

【対象】

- 経営事項審査結果通知書を提出している建設会社（帝国データバンクの建設業基準に基づく）から売上高35億円以上の1032社を原則、選出。
- 社名および所在地は、原則、経営事項審査結果通知書上のもの。

【作成方法】

- 右の4指標において、上位と下位5%（各51社）には最高点と最低点を付加した上で、残りの企業で最高値と最低値を求め、得点を案分した。計算式は（各企業の数値－最低値）÷（最高値－最低値）×得点配分（25点）＝各企業の獲得点数。④のみ0点が51社以上ある。
- 総合得点が同じでも、順位が異なるのは小数点第2位以下の差による。
- 上位の企業ほど、今後、公共工事が減少しても、生き残る力が高いことを示す。
- 民事再生法などを適用した企業も上位になりやすい。

【審査基準日】

- 2013年9月～14年8月。15年5月上旬に、ウェブの経営事項審査結果通知書に公表された最新の決算期データを基に作成した。決算期変更企業は最新でない場合もある。
- 上場企業については、④以外、最新の決算データ（15年3月期を含む、連結）を用いている。従って、未上場企業と1期程度、時期がずれている場合がある。

【見方】

①売上高（会社規模）＝25点満点

売上高（億円）

売上高の規模が大きければ大きいほど公共工事を得やすい。

案分範囲:37.6億～860億円

②収益力＝25点満点

営業キャッシュフロー対売上高比率(%)＝営業キャッシュフロー÷売上高×100

売上高に占めるキャッシュを生み出す力を示し、数字が大きいほど良い。

案分範囲:▲8.7～18.6%

③安全性＝25点満点

自己資本比率(%)＝自己資本÷総資本×100

総資本に占める自己資本の厚みを示す。数字が大きいほど良い。

案分範囲:9.2～73.8%

④公共工事受注力＝25点満点

完成工事高土木工事比率(%)＝土木完成工事高÷完成工事高×100

完成工事高に占める土木工事の割合。数字が大きいほど公共工事の受注力があることを示す。

案分範囲:0～83.7%